

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2023年6月)

【ポイント】

内政

- 16日、大統領府は政令を発表し、「空路、海路、または陸路の如何なる方法によても、当国への入国を試みる外国人は、ウルグアイで有効な健康保険または医療保険の加入が必要。」とされていた2023年2月16日付政令第55／023号第1条を廃止。
- 19日、ラカジェ・ポウ大統領は、水不足にかかる緊急事態宣言を発令した旨発表。

外交

- 13日、ラカジェ・ポウ大統領は、ホワイトハウスにてバイデン米大統領との首脳会談を実施。
- 21日、アルベルト二外務次官は、当国を訪問した中国の Qiu Xiaoqi ラテンアメリカ担当特使と会合を実施。
- 22日、ブスティージョ外相は、米州機構(OAS)代表者対話本会議に出席。
- 22日、当国大統領府予算企画庁(OPP)、当国農牧水産省、及び韓国農村振興庁は、農牧バイオテクノロジ一分野における韓国とウルグアイの協力のための覚書に署名を行った。

経済

- 7日、米格付会社フィッチ・レーティングス社は、ウルグアイの信用格付を「BBB-」から「BBB」に格上げし、今後の見通しについては「安定的」を維持。
- 8日、ラカジェ・ポウ大統領は、当地西部バイサンドゥ県に合成ガソリン生産のためのグリーン水素プラント建設に向けた20億ドルが投資される旨発表。
- 21日、ウルグアイ技術研究所(LATU)にて Microsoft 社 AI Co-Innovation Lab の開所式が行われた。
- 28日、国営通信公社(ANTEL)は5G試験サービスを開始。

【本文】

1 内政

(1)新型コロナウイルスにかかる当国入国措置の変更

6月16日、当国大統領府は、新型コロナウイルス感染対策に係る当国入国措置に関する同日付政令を掲載。「空路、海路、または陸路の如何なる方法によても、当国への入国を試みる外国人は、ウルグアイで有効な健康保険または医療保険の加入が必要。」としていた2023年2月16日付政令第55／023号第1条を廃止することとなった。

(2)水不足に関する緊急事態宣言の発令

19日、ラカジェ・ポウ大統領は、国内の水不足緩和に関する会議後、記者会見にて、今後も当面雨が降らないことを想定した上での措置を決定した旨発表。今次発表された措置の1つは、サン・ホセ川のダム及び水道管設備の建設工事の開始であり、これにより衛生公社(OSE)は、水の供給を保証するための代替となる水源を確保できることになる。またラカジェ・ポウ大統領は、当国政府が首都圏における水不足の緊急事態宣言を発令したと述べつつ、ミネラルウォーターにかかる2つの税のうち1つを政令によって免税し、もう1つの税を国会に提出される法案を通じて免税する旨発表した。

2 外交

(1) ブスティージョ外相の上院外交委員会出席

7日、上院外交委員会に招致されたブスティージョ外相は、様々なウルグアイ製品が多く市場へのアクセス拡大を得たことや二国間レベルの成功例について説明。外務省関係者は、FTA 締結には至っていないが、中国との関係深化やブラジルとのフリーゾーンに関する協定、EU、モロッコ、イスラエル、韓国、日本、エジプト、コロンビア、及びサウジアラビアとの貿易拡大を強調した。

(2) 米ウルグアイ首脳会談

13日、ラカジェ・ポウ大統領は、ホワイトハウスにて1時間20分に及ぶバイデン米大統領との首脳会談を実施。12日に米国上院に提出された様々な貿易の側面でウルグアイに恩恵を与える新規法案「米ウルグアイ経済パートナーシップ法(United States-Uruguay Economic Partnership Act)」についても協議が行われた。

(3) ラカジェ・ポウ大統領のゴールドバッジ受賞

13日、ラカジェ・ポウ大統領は、ニューヨークで開催された第41回アメリカス・ソサエティー米州評議会(AS-COA)春の祭典において同組織のゴールドバッジを受賞。アンドレス・グルスキーアス-COA 理事長は、ラカジェ・ポウ大統領が、卓越したリーダーシップとウルグアイのビジョンによって評価され、AS-COA の最高の賞の受賞が認められたと述べ、米州地域が深刻な課題に直面している今、ウルグアイは、ラテンアメリカのみならず世界にとって民主主義と経済発展の真のモデルであると強調した。

(4) Qiu Xiaoqi 中国ラテンアメリカ担当特使の当地訪問

21日、アルベルト二外務次官は、当国を訪問した中国の Qiu Xiaoqi ラテンアメリカ担当特使と会合を実施。8月に中国で開催予定の貿易・投資合同委員会次官級協議に向けて、二国間アジェンダについてレビューした。

(5) ブスティージョ外相の米州機構(OAS)代表者対話本会議出席

22日、ブスティージョ外相は、米州機構(OAS)代表者対話本会議に出席。この枠組の中でブスティージョ外相は、「我が国は、民主主義が完璧なモデルではないことを認識している。しかしながら、民主主義は自由と人権を最もよく守り、政府の政策を支持する市民とそれに反対する市民の参加を保証する政治システムである。」と述べた。

(6) 韓国とウルグアイの協力のための覚書の署名

22日、当国大統領府予算企画庁(OPP)、当国農牧水産省、及び韓国農村振興庁は、農牧バイオテクノロジ一分野における韓国とウルグアイの協力のための覚書に署名を行った。本覚書は、技術開発のための共同プロジェクトの促進とウルグアイへの研究所の設置が組み込まれている。

(7) 家畜の害虫駆除の技術協力に関する覚書の署名

22日、当国農牧水産省、米国農務省(USDA)、及びパナマ・米国家畜害虫駆除・予防委員会(COPEG)は、技術協力に関する覚書に署名を行い、同署名式にはマットス農牧水産大臣、デリス COPEG 局長(米国農務省)、及びサムディオ COPEG 局長(パナマ側局長)が出席した。本覚書の目的は、ウルグアイにおける家畜の害虫駆除プログラムの目標に資する協力及び交流メカニズムを構築することである。

3 経済

(1) 米格付会社フィッチ・レーティングス社による格付評価

7日、米格付会社フィッチ・レーティングス社はウルグアイの信用格付を「BBB-」から「BBB」に格上げし、今後の見通しについては「安定的」を維持した。フィッチ・レーティングス社によると今次決定は、ウルグアイの堅実な財政実績と財政枠組の遵守に基づくものであり、「BBB」の評価は1995年1月に同社がウルグアイの格付を開

始して以来最も高評価な格付となる。また、同社が最後にウルグアイの格上げを行ったのは、ウルグアイが「BBB-」の投資適格評価を回復させた10年前の2013年3月であった。

(2)再生可能エネルギーにかかる新規投資発表

8日、ラカジェ・ポウ大統領は記者会見を開き、当地西部パイサンドゥ県にグリーンガソリンまたはeガソリンといった合成ガソリン生産のためのグリーン水素プラントを建設するための20億ドルが投資され、これに加え、同プラントが必要とするエネルギー生成のための風力・太陽光発電所の開発と送電線の設置にかかる再生可能エネルギープロジェクトへ20億ドルの追加投資が行われる旨発表。計約40億ドルとなるこの投資は、ウルグアイ史上最大のものとなる。

(3)Microsoft社研究所の開設

21日、ウルグアイ技術研究所(LATU)にてMicrosoft社AI Co-Innovation Labの開所式が行われた。パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣は、今次開設された研究所が、テクノロジー企業に知的財産権を維持しながら無償で製品開発のためのスペースを提供することが可能となる旨説明。同研究所では、同研究所にアクセスする企業が、最先端テクノロジーを利用でき、サポートを提供するMicrosoft社のエンジニアと交流することも可能となる。同研究所は、米国、ドイツ、及び中国と並んで世界に4つしかない研究所のうちの1つである。

(4)5G試験サービスの開始

28日、国営通信公社(ANTEL)は、カネロネス県、モンテビデオ県、コロニア県、及びマルドナド県の5G試験サービスを開始。同社の顧客約30万人が5Gを通じて通信することが可能となった。グルメンデスANTEL総裁は、ANTEL社がウルグアイで初の国民への5G提供を行う機関であると述べ、5Gサービスは、ウルグアイの将来及び成長と関係していると発言。またグルメンデス総裁は、今後国内全土で5Gサービスが展開されると発表した。

4 要人往来

(1)往訪

- ・10日～14日：パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の米国訪問(米州評議会(AS-COA)の枠組における投資家・企業家との会合出席。)。
- ・12日～15日：ラカジェ・ポウ大統領の米国訪問(バイデン米大統領との首脳会合、第41回アメリカス・ソサエティー米州評議会(AS-COA)春の祭典授賞式出席。)。
- ・15日～16日：ダ・シルベイラ教育文化大臣のアルゼンチン訪問(第62回メルコスール教育大臣会合出席。)。
- ・16日～23日：ランド厚生大臣のタイ、アルゼンチン訪問(非感染症疾患の教訓に関するワークショップ、第52回メルコスール厚生大臣会合出席。)。
- ・19日～21日：ビエラ観光大臣のパナマ訪問(第10回観光会議に関するラテンアメリカ政策フォーラム出席。)。
- ・21日～26日：ブスティージョ外相の米国訪問(米州機構(OAS)代表者対話本会議出席。)。
- ・25日～30日：ダ・シルベイラ教育文化大臣のポルトガル、スペイン訪問(「ラテンアメリカ・カリブ地域における就学時間の延長に関する再考察」政策についての地域対話等出席。)。
- ・25日～7月2日：ランド厚生大臣の米国訪問(第172回汎米保健機構(PAHO)理事会会合出席。)。

(2)来訪

- ・21日：Qiu Xiaoqi ラテンアメリカ担当特使の当地訪問(アルベルトーニ外務次官との会合。)。
- ・22日：Chaeho Cho 韓国農村振興庁長官の当地訪問(農牧バイオテクノロジー開発に関する覚書の署名式出席。)。